

東京学芸大学 大森直樹研究室主催・公立小学校教員対象

標準時数の変遷についてのアンケート 回答ご協力依頼

公立小学校教員のみなさま

東京学芸大学の大森直樹です。公立小学校教員のみなさまにご協力いただき、標準時数の変遷についての研究をすすめたく、アンケートにご協力をいただければと思います。

小学校の教育課程、とくにその授業時数は、国が定めた標準時数(教育課程基準の1つ)にもとづき各校が定めており、学習指導要領の改訂等にもとづいて変遷してきました。各期の標準時数下の教育課程について、公立小学校教員の方々に経験にもとづく感想をいただき、今後の教育課程基準のあり方の改善に活かすことが本アンケートの目的です。よろしくお願いいたします。

アンケートフォームのURLおよびQRコードはこちらです→

<https://forms.gle/PH9oBJAZ5ouf52JE9>

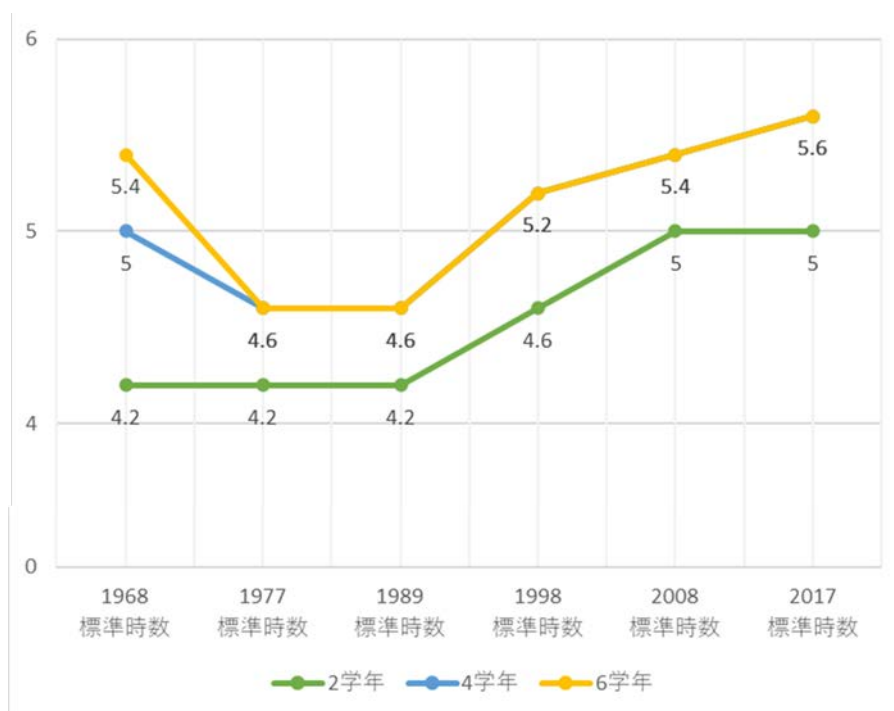
スマートフォン・タブレット等から回答可能です

回答は匿名で集計され、所用時間は2～5分です

回答締め切り：2023年9月29日



【参考：小学校の平日1日時数の変遷】



- ・特別活動(特活)の標準時数は差し引いている(各期でカウントが異なるため)
- ・週6日の1968～1989標準時数については「週コマ数－4時数(土曜の時数)÷5日」で算出
- ・週5日の1998～2017標準時数については「週コマ数÷5日」で算出
- ・週コマ数は「標準時数÷35」で算出(35は標準時数を週標準時数に換算する係数)
- ・1977標準時数より4学年・6学年は1日時数が同じ

このアンケートは、一般財団法人教育文化総合研究所が協力しています。

お問合せ TEL 03-3230-0564 / メールフォーム <https://www.k-soken.gr.jp/pages/3/>